

## 8-4-40 照査特別WG

### 1. 主な活動の記録

本WGの主たる活動である「品質委員会/品質セミナー」は平成12年度から継続的に開催している重要な協会活動であり、今年度で21回目を数える。

品質セミナーは「エラー事例を把握することで同様な・類似したエラーの発生を防ぐ」、及び「エラーに対する分析や改善策を把握することで、品質の維持・向上への具体策やヒントを知る」ことを目的に、管理・照査技術者、若手技術者などの実務者層を対象に実施した。

令和2年度のセミナープログラムは、品質委員会による概要説明、品質向上専門委員会による各企業の品質確保・向上のための取組み事例紹介、照査特別WGからはエラー事例の技術的分析と改善策として従来からの道路、橋梁、土質・地質、河川、砂防・急傾斜に隔年開催となる港湾を加えた6分野で事例紹介やその解説を実施した。

#### (1) 照査特別WGの構成

令和2年度も技術部会の道路、道路構造物、河川構造物、土質・地質、ダム・発電、砂防・急傾斜、鉄道、港湾の8つの専門委員会委員によりWGを組織し、10月のセミナー開催に向けてWG活動を推進した。

#### (2) 照査特別WGの開催

WG開催：6回（4～9月）

セミナー講師全体リハーサル：1回（10月）

#### (3) 品質セミナー資料の作成と更新

エラー事例は各支部での収集活動を継続するとともに、本部専門委員会でも河川計画分野の収集を実施し、より多くの事例を集めた。

表. 令和2年度品質セミナープログラム

①セミナー概要説明	15分	
②技術継承のあれこれ	60分	
③エラーの技術的分析と改善策	(1) 道路/トンネル	50分
	(2) 橋梁	50分
	(3) 土質・地質	50分
	(4) 港湾	50分
	(5) 河川構造物	50分
	(6) 砂防・急傾斜	50分

この結果、143事例の新規エラー事例を追加収集・整理し、エラーの技術的分析と対応策を盛り込んだ令和2年度版のセミナーテキスト『エラー防止のために 参考資料』（2,002事例、全1,187ページ、ダウンロード配布）ならびにこれに基づくプレゼンテーション資料を作成し、セミナー開催後は会員HPへの掲載も行った。

また改定された「詳細設計照査要領」の適用性の確認や、港湾専門委員会では独自に港湾関係・詳細設計照査要領(案)を作成し、また他の分野は最新のエラー事例を反映して内容を更新し、個別エラー事例pdfに収録した。

#### (4) 品質セミナーの開催

これら準備のもと、全国9支部の協力を得て、「品質委員会/品質セミナー～品質の確保・向上に向けて～」を10～11月にオンラインセミナー（ビデオ配信）にて開催した。

参加者数（全体）は、従来の集合型講演からオンライン形式に変更したことなどにより、過去最多の参加者（2,339名）となった。

また発注者からも今後も参加継続や積極的な呼びかけ要望など関心の高さが伺え、またセミナーアンケート結果を見ると、その内容についても総じて高い評価を得ている。

## 2. 次年度の活動について

アンケート結果からも令和3年度も引き続き品質セミナーを開催する予定であるが、内容の企画については、令和2年度のアンケート等を踏まえて、更に満足度が向上するよう全国各支部や本部専門委員会の協力を得ながら、品質委員会、照査特別WG等で検討する。

（照査特別WGWG長 和田 一嘉）

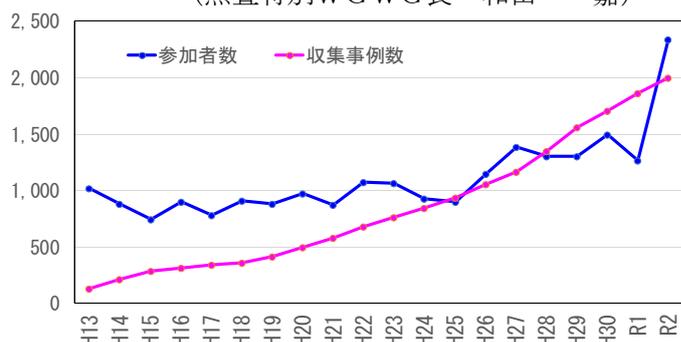


図. 参加者数及び事例収集状況の経年変化